# 文化財看板作成のポイント集

# (1)目的を決める

① 誰に伝えたいのか

子ども向けなら、<u>文章は短く、漢字は簡単</u>に 観光客向けなら、<u>地名や人名</u>に注意が必要 地元の人向けなら、<u>地元の祭りや年中行事</u>と関連させて

- ※相手によって看板の内容は千差万別。見る人の気持ちになって想像しましょう。
- ② 何を伝えたいのか

設置する文化財の本当の「価値」=伝えたい内容とは何か、を考えましょう。 建物なら・・・ 時代(古さ)? 形(意匠)? 由来(建てた人やエピソード)?

③ どのように伝えたい/使いたいのか 親しみやすい文章とするのか、威厳を持たせるか。 看板だけで独立させるのか、ガイドマップと合わせて使うのか。

## (2) レイアウトを決める

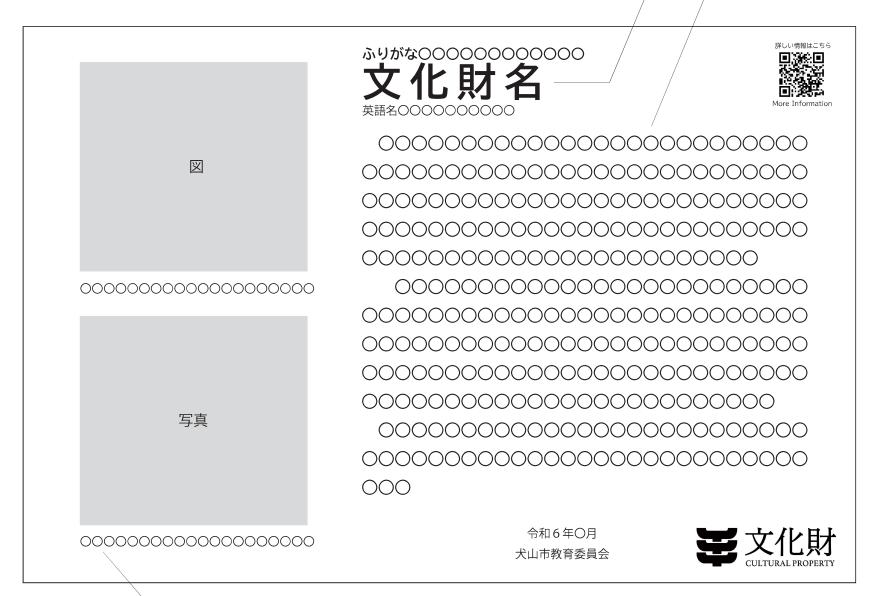
- ① 看板に載せたい情報を整理し、優先順位を付けます。
- ② 人は大きいものから順に看板を見ます。優先順位に沿って、レイアウトしましょう。
- ③ 一枚の看板に使うフォントや色、文体のルールは統一しましょう。フォントと色は、 ユニバーサルデザイン(UD)対応のものが推奨されます。
- ◎ 裏面に、ワークショップを通して作成したデザインサンプルを掲載しています。この内容を参考に、文化財や設置場所に応じてアレンジしてください。

### (3) 試作して、現地で広げる

- ① 画面ではよく見えても、実際に作ったらイマイチということはよくあります。
- ② 看板の案をできるだけ実物に近い大きさでプリントして、現地で広げてみましょう。 (印刷業者さんにお願いするほか、コンビニでも大きいサイズのプリントができます)

### (4) 設置する

① 看板を見るときの立ち位置を意識して、設置する場所や向きを決めましょう。



キャプション・TBUD 丸ゴシック 36pt 前後